

木内様

たった今家に戻りました。
まず荷物を開けるより先にこのメールを書いています。
(^-^)

木内さんのお手配、完璧でした！
送迎、観光、ホテルどれもまったく順調過ぎるくらいです。
青の洞窟も本当にラッキー過ぎる状態で入ることが出来ました。
(詳しくはまたお知らせしますね)
ホテルもみなロケーション、グレードともに最高でしたよ。
お心遣いに感激です。

お話したいことは山盛りですが、取り急ぎ無事帰国の報告と
御礼を申し上げたく書きました。
感謝感謝 (●^-▽^-●)

A. & Y.
[7月15日]

.....

木内様

『ゆっくりイタリア』のタイトルにふさわしいノンビリと
無理のないスケジュールで、初めての土地でも効率の良い観光とゴ
ージャス感あふれるホテルでの滞在で、大満足の2週間で過ごして
来ました。
ご報告を兼ねて楽しい夢のような日々をお知らせいたします。

<出発>

普段 JAL を使うことが多いので、新しくなった成田第一ターミナル
は初めて。
アリタリアのカウンターで木内さんが手配して下さった通りの座
席の搭乗券を受け取りラウンジへ。
アリタリアはノースウェストのラウンジにお邪魔するわけですが、
このラウンジが素晴らしくビックリ！
軽食類も充実で JAL とは雲泥の差でした。
ローマ乗継でベネチアに行く際、イタリア入国手続きはローマだけ

れど荷物はベネチアまで出てこないというので楽々でした。

<ベネチア到着>

夜遅い到着でしたが、到着口に明るいイタリアのおじさまがお出迎え。

英語と日本語混じりの会話でベントとモーターボートを乗り継ぎルナホテルバリオーニへ送って下さり、チェックインの手続き、次の日のゴンドラと食事の確認、ベネチアからフィレンツェへ移動する日の迎いの確認まできちんとしてくれました。

<ベネチア滞在>

ルナホテルバリオーニ：

部屋も広くロケーションも良いところでした。

部屋からのビューは悪かったのですが、ウエルカムの小さなタルトと果物がお部屋にありほほえましかったです。

レセプションが重厚な雰囲気、黒づくめのスーツのホテルマンが皆映画に出てくるマフィアのようにカッコ良かったです（笑）。

朝食には驚きました。

品数や内容がすごくて、アメリカで言う『シャンパンランチ』のようだと思ったら、ホントにシャンパンもありました～。
この後滞在した2軒のホテルの朝食も素晴らしかったのですが、順位をつけるならここが1等賞でした。

ゴンドラとシーフードのディナーについて：

日本語を話す、可愛いイタリア人のお嬢さんが案内してくれました。

ゴンドラでグルッとまわり、その後大運河に面した、

実にロケーションの良いレストランでの食事でした。

ボリューム満点でしたが、昼間の食事が響き、あまり食べられませんでした。・・・

昼間、木内さんオススメの『マドンナ』で、クモガニやイカ墨パスタをタラフク食べてしまったの～(^^)ゞ

ベネチアは観光をつけて頂かなくても大丈夫でした。

たくさん歩き回り、十分自分たちでまわる事が出来ました。

フィレンツェに移動の日の送迎も、空港からホテルに連れて行ってくれたおじさまがしてくれました。

初めての列車移動でしたが、列車の座席に着くまできちんとして連れて行ってくれました。

<フィレンツェ滞在>

品の良い主婦という感じの奥様が、到着時、出発時とも送迎してくれました。

ベネチアはプロの旅行業者という感じで、こちらは自分の車持込で、パートタイムのアルバイトという風情。

純粹に送迎のみをこなしてくれましたが、何の問題もありませんでした。

ヘルベティア&ブリストルホテル：

木内さんのオススメだけあって素晴らしかったです。

お部屋もスイートにアップグレードしてくれていました。

そしてウェルカムフルーツもさることながら、木内さんからの洒落なプレゼントに大感激（。>.<。）

本当にありがとうございました。

（何とか感激をお伝えしたくて、木内さんの携帯がドコモであることを願いショートメールをしました）。

半日観光：

一風かわった感じの“せいこさん”と仰る、フィレンツェ在住の方が案内してくれました。

自分たちで見て回るのと違い、歴史や見所、美術・芸術の観点からもいろいろ話してくださるので、とても良かったです。

この半日観光でその後の動きがとても楽になりました。

ウフィッツイ美術館予約：

観光シーズンだったようで本当に人出が多く、助かりました。

ピサの斜塔見学：

個人で行くのは大変だと思いました。

お願いして良かったです。

ピサの斜塔は、札幌時計台のようにがっかりかと思っていたら全然違い、感激しました！

ちょうどサミットに来ていた中国のVIPが観光にきたらしく、上空をヘリコプターがブンブン飛んでいました。

教えていただいたTボーンステーキの美味しいというレストラン、最高でした。

サバティーニに食事に行ったら日本人だらけで驚きました（笑）。

でもホテルのコンセルジュから予約をいれてもらったせいか
扱いがまったく違い、とても良かったです。

長々書いてしまいました。
ローマについてはまた後日お知らせしますね。

ゴルフの全英オープンを観るので時差ぼけが好都合です！

Y.
[7月17日]

.....

木内様

間が開いてしまいました。
ローマについて書かせていただきますね。

<ローマ滞在>

ステキなスーツ姿の男性が、ベンツのワンボックスでテルミニ駅に
迎えに来てくれました。

(送迎はすべてピカピカのベンツでしたよ~)。

ローマのホテルは他の2箇所比べるとやや狭く

(DELUXE にして良かったです)、ウェルカムフルーツや夜のタ
ーンダウンサービスもなく、少し格落ち感がありました。

ただし朝食に関しては、他と同様素晴らしかったです。

(^◇^;))

市内観光：

とても効率よくまわられて本当に助かりました。

観光客がものすごく多かったので、どこでもディズニーランドのよ
うな行列…個人でまわっていたら回りきれませんでした。

ガイドの方もとても良かったです。

バチカン美術館：

市内観光同様、本当にお願いで良かったです。

説明もわかりやすく、ふたりで感心しました。

ウフィッツイでは日本語のイヤホンガイドを借りましたが、生身の
人間は要点をわかりやすく説明してくれるのでやはり段違いです。

青の洞窟：

奇跡的に入ることが出来ましたゞ (@ ^ ▽ ^ @) ノ

参加人数が私たちを含め4人でした。

ガイドの方いわく

「少人数なので10人乗りの車を用意しました。

バスだと制限時速100キロですが、これなら

120キロまでOKです。

昨日まで3日間洞窟が閉じていました。

今日は日曜ということもあってかなりの混雑が

予想されるので、少しでも早い高速船に乗りましょう」

と、すっ飛ばして行き、他よりひとつ早いという高速船に
乗りました。

そしてカプリ島で待つガイドさんと度々携帯で連絡を取り、
カプリ島に着くやいなや走ってモーターボートに乗りました。

このカプリ島のガイドさんは優しいおじ様でしたが、
あの辺りではかなりの顔役の方らしく、交渉してくれて、
モーターボートやクルーザーが洞窟前でかなり待っていたのに、
洞窟に入る船が私たち4人だけを早々に迎えに来てくれて、
かなりのワリコミで洞窟へと連れて行ってくれました。

夢にまで見た青の洞窟、言葉では表せない色…

ずっと覚えていると思います。

ちなみにモーターボートで一緒だった人たちが、私たちより
2時間近く後に戻って来たのを見かけました。

オマケに波があるのに無理に開けていたという洞窟見学は、
その人たちを最後にクローズされたと聞きました。

本当にあのおじ様のおかげです。

大して待ちもしていないのに波酔いと戦っていた私。

あれ以上浮かんでいたら確実に吐いてましたよ～。

洞窟見学より先に昼食をとっていた日本人がかなりいらして、
機嫌悪かったです…

みゅうトラベルの方、カプリ島のおじ様、手配して下さった
木内さんに大大大感謝…。

みゅうトラベル：

青の洞窟の件も素晴らしかったですが、ホテルのことで電話連絡を
した時、送迎時間の変更をお願いしたくて連絡をした時、共にもの
すごくキチンと対応してくれました。

余談ですが、
麻生首相が木内さんオススメのハスラーのレストランに
食事に来ていて、出てくるところを見かけました。
警備陣が映画の一場面のように、
そりゃあそりゃあ格好良かったです(^o^)
麻生さんも予想よりステキでしたよ。

<今回の旅行に関して>
本当にゆったりとした日程で、ホテルのロケーションも内容も
素晴らしく、手配していただいた観光はものすごく有効的確。
Aも感心しきりでした。

木内さん、本当にありがとうございました。
2月には悲しい思いもしましたが、今回7月に延期したおかげで
天候にも恵まれ、素晴らしい思い出がたくさんできました。
言葉では言い表せないくらい感謝しています。
メールとお電話のみのお付き合いで、私たちの顔もご存知ない
ことに気づき、恥ずかしながら写真を添付させていただきます
(*^ω^*)ゞ

帰りの飛行機、2列前の席にアマミユウキさんが乗ってました。
帰国後、映画アマルフィーのために行っていたことを知りましたが、
その映画のおかげで、最近テレビでイタリアのことをたくさん
放送していて楽しいです。

インターネットという文明の利器で素晴らしい方とめぐり合い、
楽しい最高の旅行の企画と手配をしていただきました。
本当にありがとうございました。

A. & Y
[7月20日]